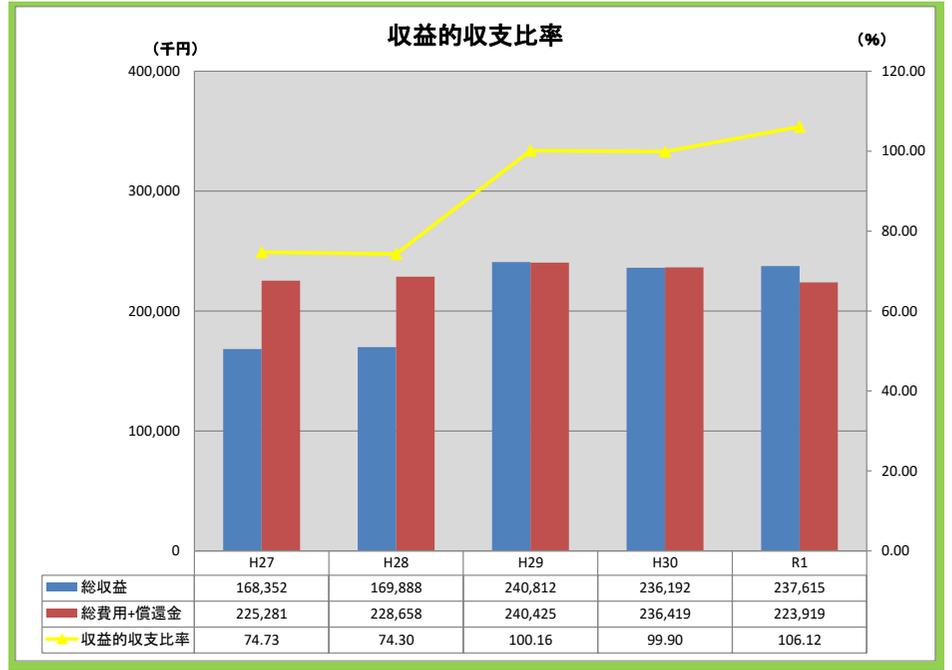
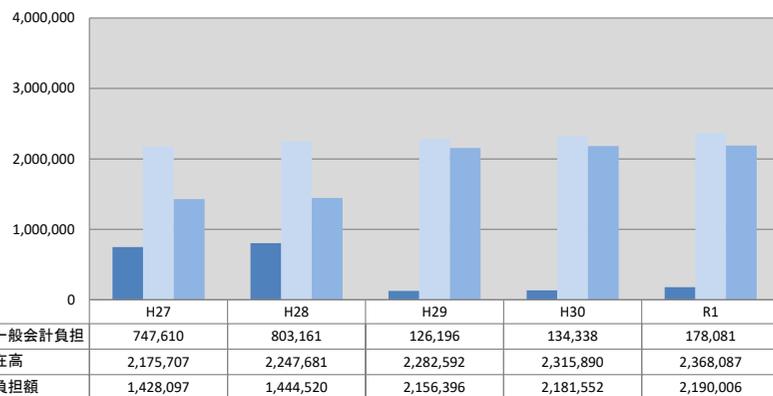


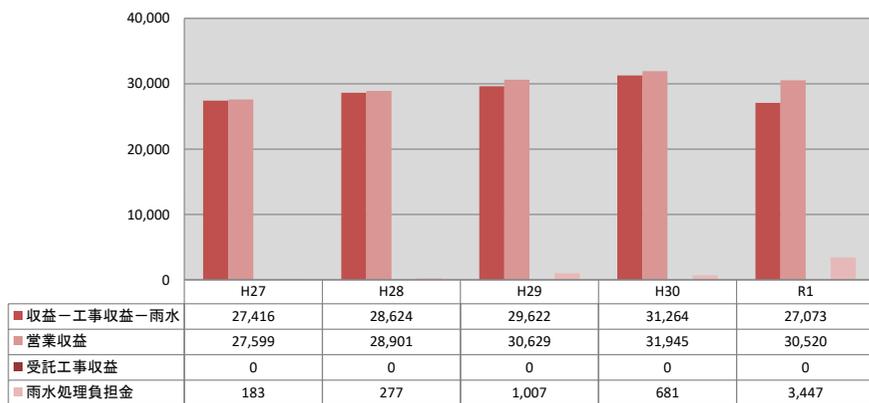
=



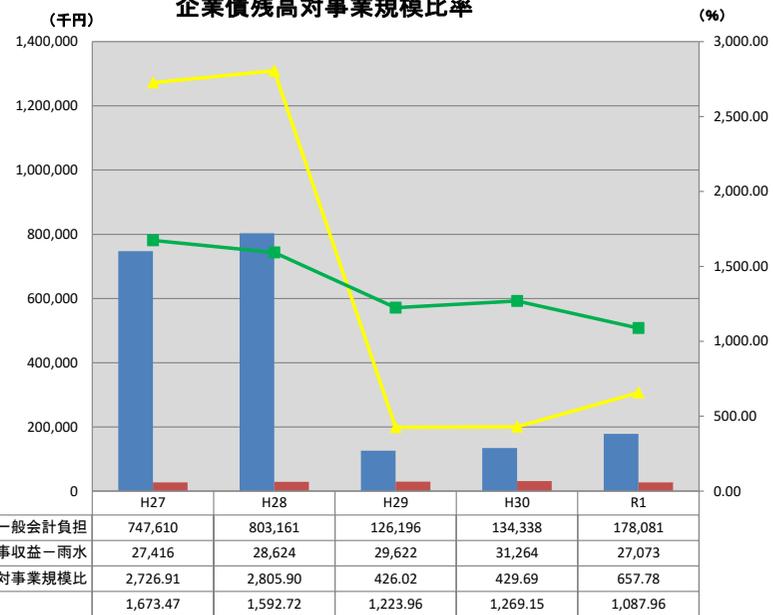
(千円) 地方債現在高合計—一般会計負担額

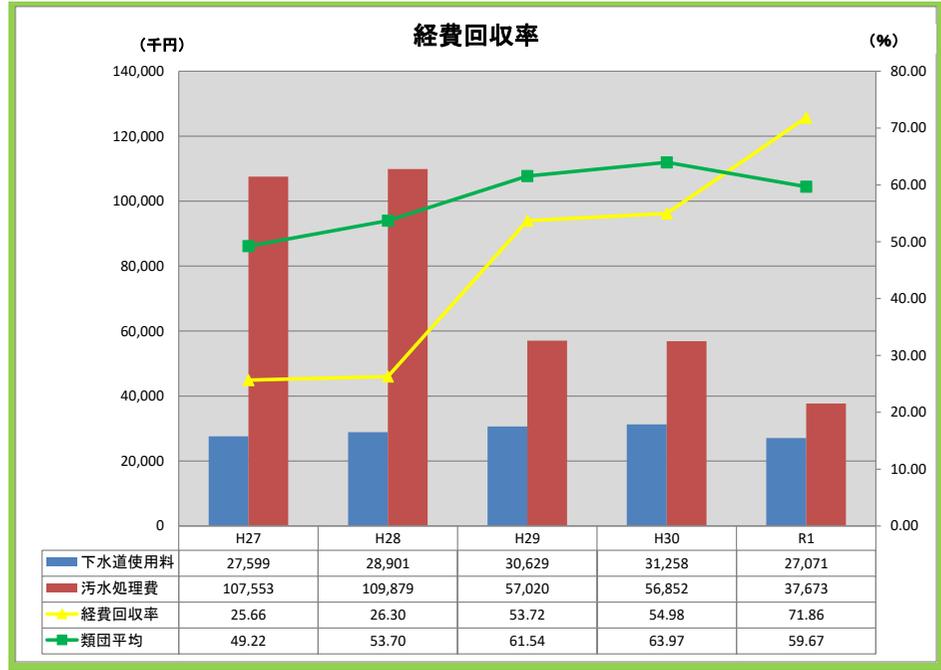
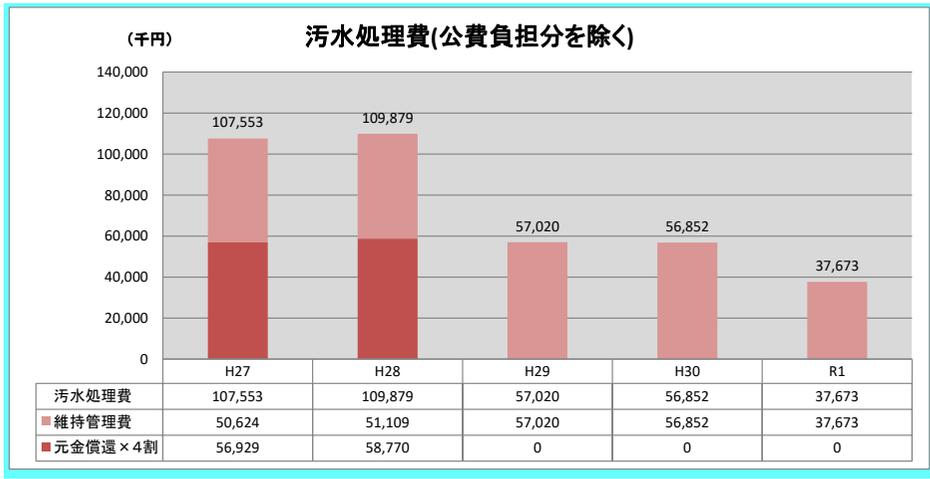
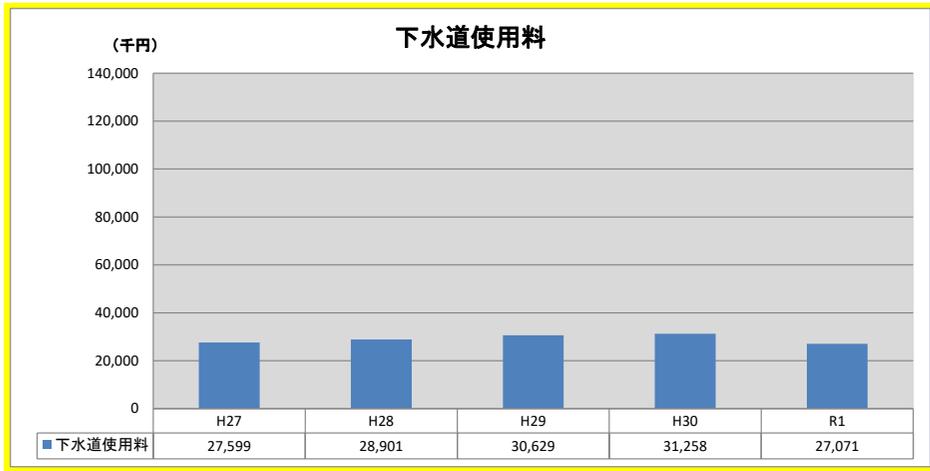


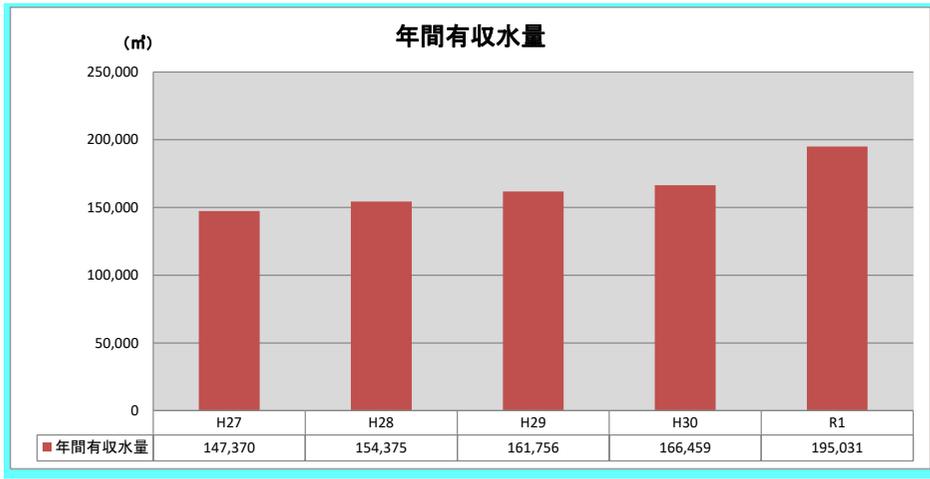
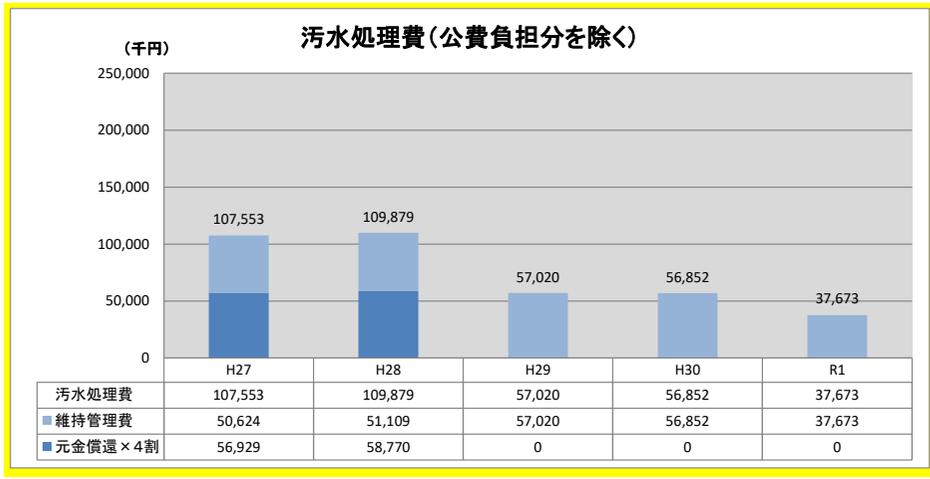
(千円) 営業収益—受託工事収益—雨水処理負担金



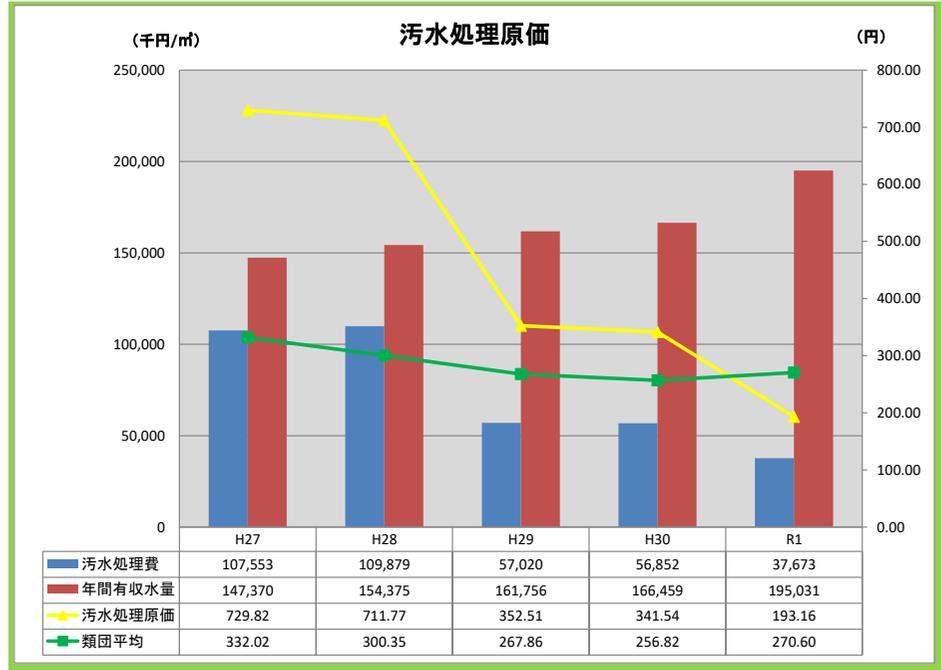
企業債残高対事業規模比率

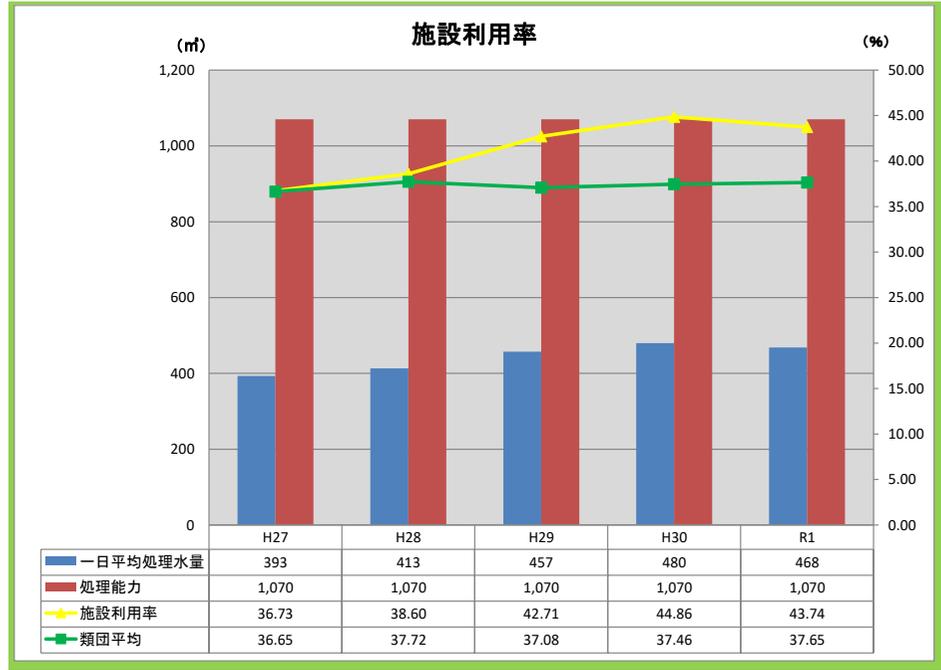
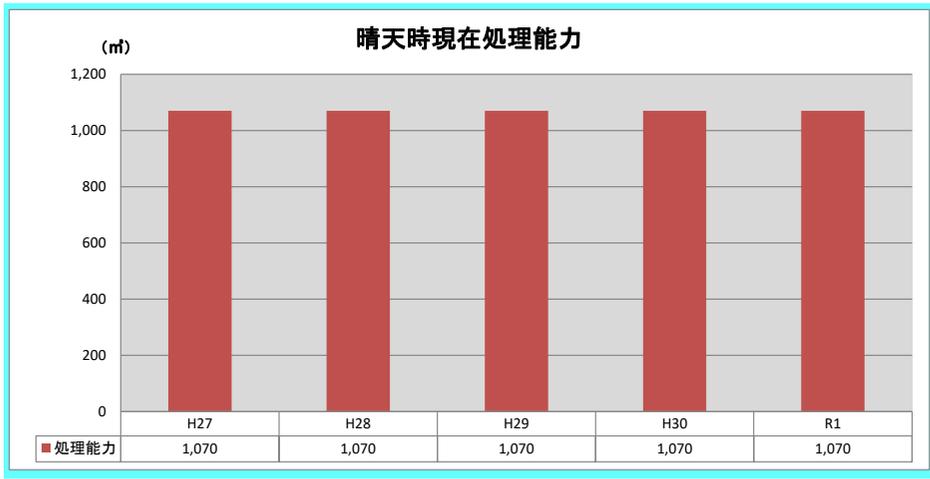
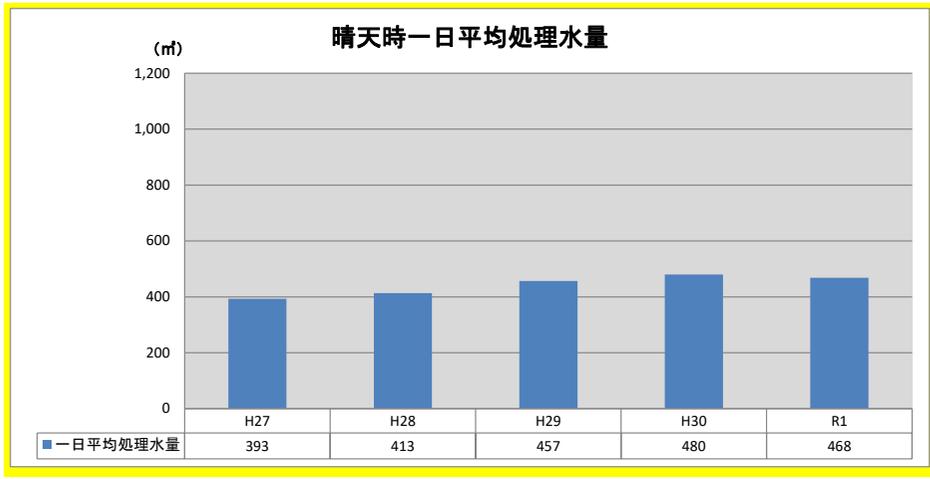


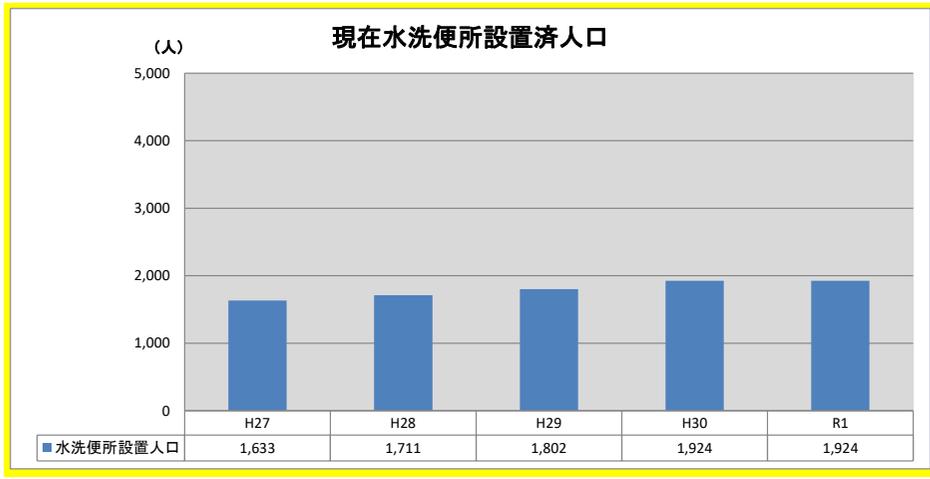




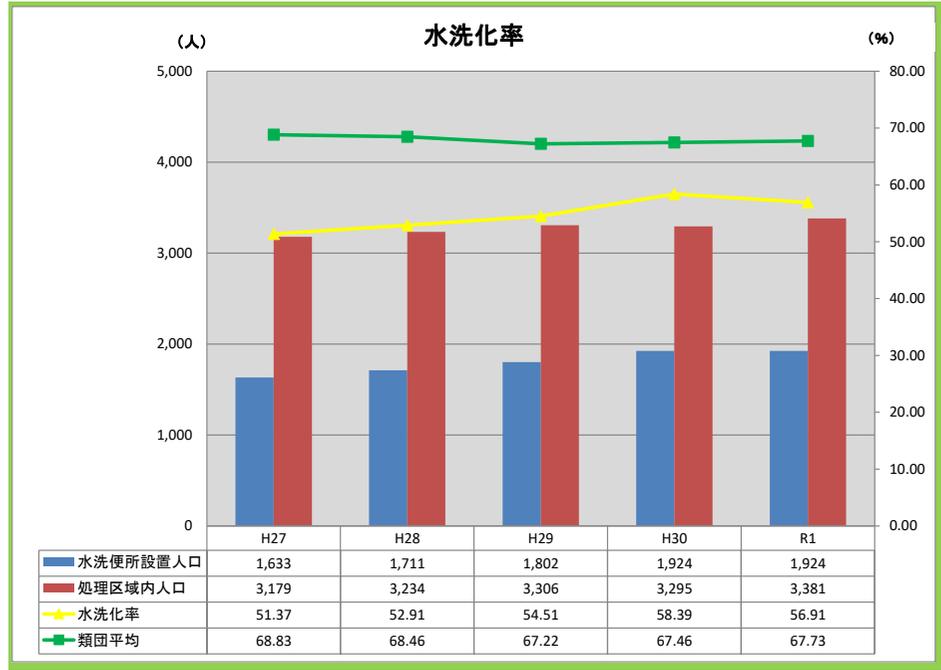
=

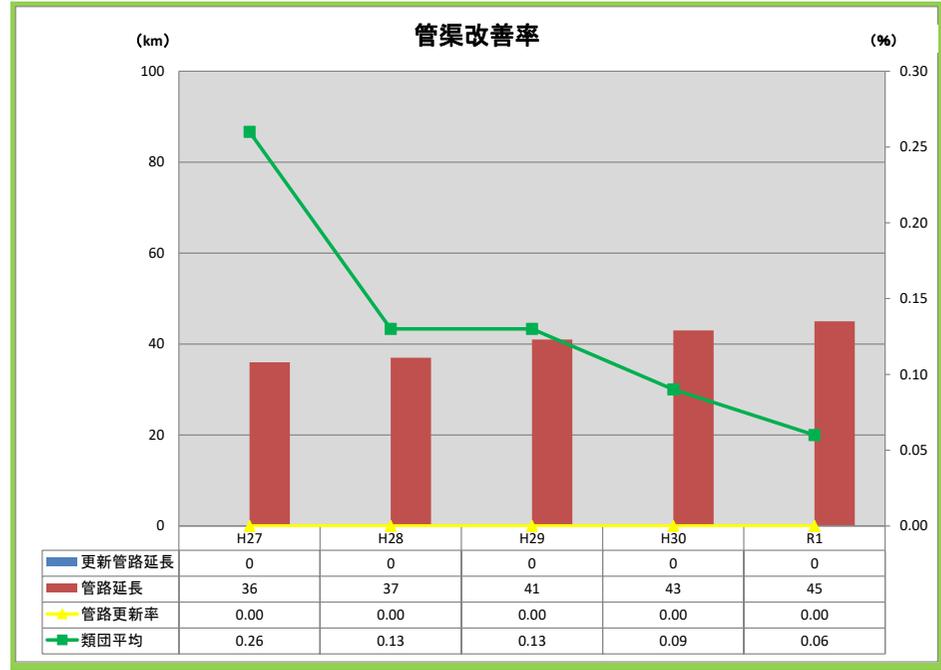
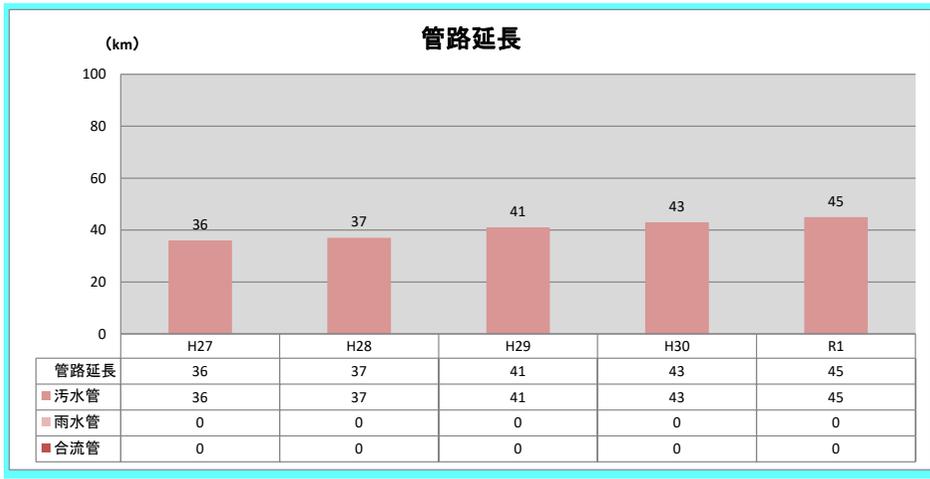
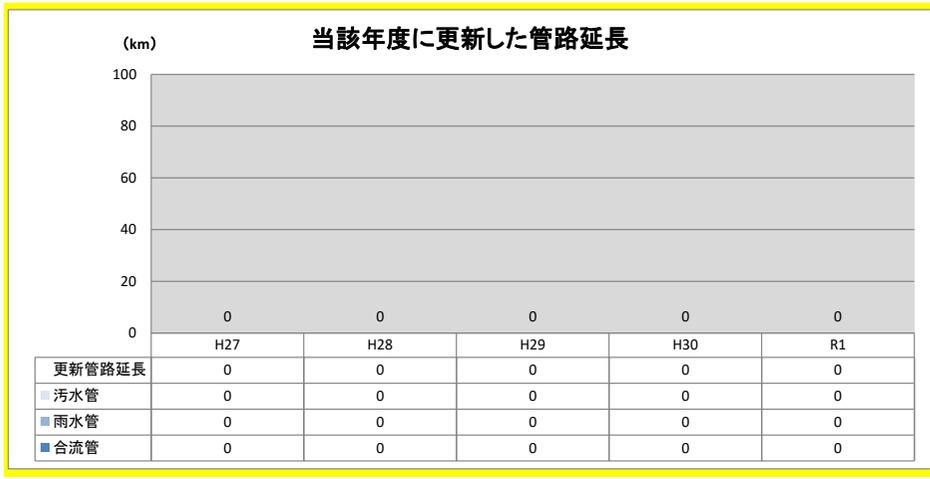






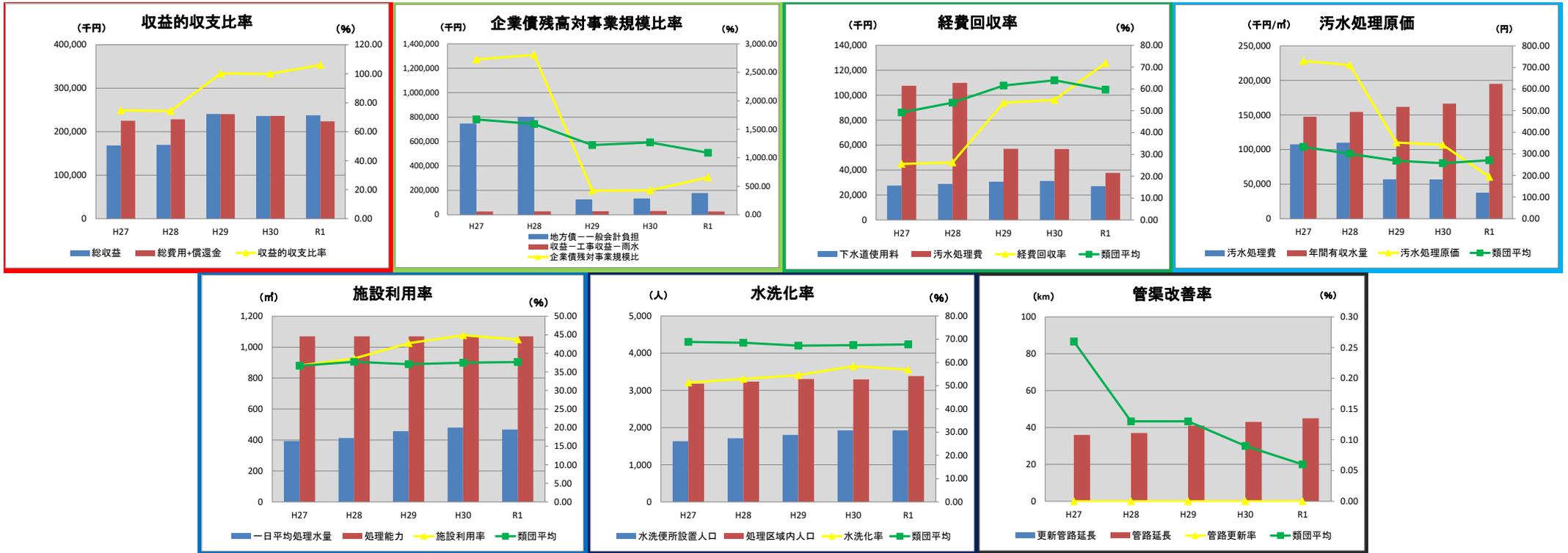
=





○經營比較分析表

事業名： 特定環境保全公共下水道



経営比較分析表の各指標解説

—下水・法非適用の場合—

		説 明		算出方法	
1－	経営の健全性・効率性	①	収益的収支比率	総収益で費用をどの程度まかなえているか	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用} + \text{地方債償還金}} \times 100$
		②	累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の状況	
		③	流動比率	短期的債務に対する支払能力	
		④	企業債残高対事業規模比率	料金収入に対する企業債残高の割合	$\frac{\text{地方債現在高合計} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$
		⑤	経費回収率	使用料で回収すべき経費を賄えているか	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$
		⑥	汚水処理原価	有収水量1m <sup>3</sup> あたりの汚水処理に要した費用	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$
		⑦	施設利用率	処理能力に対する一日平均処理水量の割合	$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$
		⑧	水洗化率	水洗便所を設置して汚水処理している割合	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$
2－	老朽化の状況	①	有形固定資産減価償却率	減価償却がどの程度進んでいるか	
		②	管渠老朽化率	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合	
		③	管渠改善率	更新した管渠延長の割合	$\frac{\text{改善(更新・改良・維持)管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$